

地域力で地域の資源を守ろう！

—平成 27 年度日本型直接支払制度（多面的機能支払）の活動事例紹介—

①大原地区環境保全会 ②農地周辺の共同草刈り 	①香川地区資源保全組合 ②地域住民と花壇への植栽活動 	①成香地域資源保全組合 ②農道の維持管理活動 
①大原地区環境保全会 ②多面的機能活動計画の策定 	私たちの活動組織は日本型直接支払制度（多面的機能支払）を活用し、農地・農道等の地域資源の保全活動や機能向上のための共同活動に取り組んでいます。	①香川地区資源保全組合 ②農地崩落個所の確認作業 
①花和地区環境保全会 ②農地に景観形成作物を植栽 		①成香地域資源保全組合 ②農地周辺の景観保全活動 

①…活動組織名 ②…活動事例

農地や農業用水などは、安全で安心な食料生産を支える生産基盤としての役割はもちろんのこと、国土・環境・生態系の保全、伝統文化や歴史的施設の伝承、学校教育、都市住民にとっての憩いや安らぎの場の提供など多面的な役割を担っている地域の大切な資源です。しかしながら、多くの集落では過疎化や高齢化が進行し、資源を守る地域のまとまりが弱まっています。

この事業は、農業者だけでなく地域住民、自治会、関係団体などが幅広く参加する活動組織を立ち上げ、これまでの保全活動に加えて、施設を長持ちさせるようなきめ細やかな手入れや農村の自然や景観などを守る地域共同活動の促進を目的に行うものです。

今年度、町内で4活動保全会（組合）が組織されましたが、地域の保全や良好な景観の形成等の多面的機能発揮のために、自らが策定した活動計画に基づき今後も取り組んでいきます。

制度に係る問合せは、洞爺総合支所農業振興課（☎82-5111）まで。